

ALL for ONE

Vol.

38

2024年2月

「意志の継承」

NIPPON KABAYA OHAYO HOLDINGS INC.

日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社

Communication Magazine



野津 基弘
日本カバヤ・オハヨーホールディングス 代表取締役社長

投資と経営

会社を継続するための経営はしない 意志を継承し実現するために投資する

1月1日に発生した能登半島地震、飛行機事故により犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

そのような中、私たちグループにおいては、全員が大きな怪我なく無事であり、事業に従事できることに感謝するとともに、亡くなられた方々の『私の約束』を継承し、人々の健康を願い、事業の発展を以って日本、そして世界を善くすることが、私たちにとっての恩返しであると思っています。

昨年、グループとしてスタートアップ企業への投資を始めました。

- ・3月：Third Sphere (<https://thirdsphere.com/>)
- ・4月：Zipline (<https://www.flyzipline.com/>)
- ・5月：Toggle Robotics (<https://toggle.is/>)
- ・10月：ファームノート (<https://farmnote.jp/>)
- ・12月：Oishii Farm (<https://oishii.com>)



Third Sphere
(thirdsphere.com)



Zipline
(flyzipline.com)



Toggle Robotics
(toggle.is)



ファームノート
(farmnote.jp)



Oishii Farm
(oishii.com)

「ヒト=事業」への投資です。

投資対象となる「ヒト」は、世界規模の問題解決を、意志を以ってやり遂げようとする人。

世に知られる技術や短期的なキャピタルゲインではなく、

「自分と世界の間の問題」を解決するという『私の約束』と共鳴し、

この意志を継承するとともに、実現へ共に歩んでくれる「ヒト」への投資です。

2024年も、意志の継承を目的とした取り組みにこだわりたい。

意志が継承されることで、私たちグループは時代を越えて生き続けることができます。

『日本を真の独立国家とし、
世の中の理を知り、世界に冠たる国家となり、
世界中を遊び場にし、世界中を仕事場にする』

私は、日本という国だけを観て『私の約束』を創ったではありません。
「自分と世界の間にある問題」を解決する意志として掲げています。

① 世界の問題を解決すること

- 
- ・不自由な世界にムカつく！→不自由をなくす！という意志を持つ
 - ・意志と意志をぶつけ合い、意志を強くする（テーゼ→アンチテーゼ→ジンテーゼ）
 - ・守られていることは支配されていること。自分で守る覚悟を持つ（真の独立）
 - ・強い意志で実行、実現する
 - ・『自由と自立』を手に入れ、『愛情と覚悟』を以って世界と人に関わる

これらは世界を善くする人物たちの共通項であり、
世界基準であると確信しています。

② 世界から問題が消えないのはなぜか？

世界の問題とは、自分自身との間にしかありません。

それなのに、多くの人は自分と向き合うことを避け、世界の問題を知ろうとしないために、
「自分と世界の間にある問題」が見えない無知の人になっています。

哲学の父とも呼ばれるソクラテスは、「無知の知」という考え方を基本としました。

「無知であることを知っていること」が重要であるという意味ですが、
言い換えると「無知である」ことよりも「自分は無知ではない」と思っていることのほうが
罪深いということ…なぜか？

知らないことで相手をレッテル貼りし、壁を創り、閉鎖的になり、差別が始まる。

人と人とのつながりを拒絶し、分断し、ぶつかり合い、ひいては異端として殺し合う。

世界は多くの問題を抱え、混迷を極めていきます。

「自分と世界の間にある問題」と世の中の理を知り、解決にあたっていく。

多様性を受け入れて、自分や相手の『人間性の本質』と『物事の本質』を追究するために、
意志を持ち、ぶつけ合っても自分や相手に向き合って、共通する何かを見出して、
ともに実現したいことを掲げ、やり遂げる。

【個に迫る × 多様な人・物事の数→共通項→概念化】

『理想を掲げ、意志を以ってやり遂げる。』

意志を貫こうとすると、必ず人とぶつかる…が、貫けば必ず実現に近づく。

自分だけの世界に閉じこもらず、あらゆる人に本気で向き合うために、

心をひらいて人とつながり、この残酷で素晴らしい世界に一步踏み出してもらいたい。

③ 世界史の奇跡

世界史、世界情勢、日本という国を観た上で、日本は「世界史の奇跡」とであると確信しています。

世界では、人種差別、宗教によって紛争や戦争が起こり、

食料危機やエネルギー危機を引き起こし、多くの人が犠牲になっています。

差別することで人に「上下」が生まれ、支配層と被支配層ができ、

支配層が被支配層を死なせることに大義名分を与えてしまっています。

日本にはこのような歴史と差別はありません…なぜか？

日本人は、古代、大和・飛鳥時代から人の多様性と卓越性の卓越を求め、認め、

生きていくためのリソースを万遍なく行き届かせるメカニズムを構築しています。

自給自足の時代から国際交流を重ね、現代社会に於いてリソースを万遍なく行き届かせる豊かな国…

1億人以上の国家で実現できているのは日本だけです。

これを実現する努力を続けた結果、2680年以上もの間、国家として成立している世界最長・最古の国となりました。

それは単に国を継続してきたのではなく、

日本人の「人は豊かであるべきだ」という意志の継承によってなされたのです。

『大御心（おおみごころ）』

…これが日本人の根幹であり、天皇陛下は祈り続けておられます。

日本だけでなく、世界の平和のために。

そして、それを実現することが私たちの使命だと思っています。

④ 経営とはなにか？

皆さんには、しっかり理解しておいてほしい。

「歴史・伝統・文化」「政治」「経済」「経営」…どれが一番上か？

世の中のあらゆる物事は、人が決めてきた、これからも決めていく…『経営』です。

『経営』 = 意志

1. 「歴史・伝統・文化」 = 過去 - 現在 - 未来をつないで観た上で、
変えるべき/継承すべきを判断し、決断し、戦略とする
2. 「政治」 = 人を巻き込む
3. 「経済」 = 実現可能な『キャッシュ最大化 = 人物力最大化』の循環を生む

1～3を一氣通貫するリーダーシップを以って、実行して実現することが『経営』である！

『経営』とは、意志がなければ実行に移すことはできない。

あなたがもし本氣なら迷い悩むはずだが、「歴史・伝統・文化」を学び、あらゆる選択肢を持ち、自分で答えを出し、実行し、実現することが『経営』です。

⑤ 意志を継承し得る「ヒト=事業」への投資

『経営』とは、誰かがやってくれるものではありません。

あなたが人生の経営者となり、自らの意志で道を切り拓くことで

かつての日本人がそうであったように、世界に進むべき方向を示し、

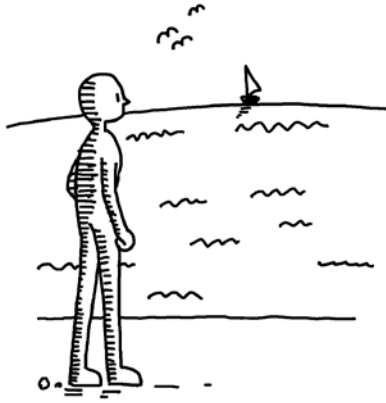
世界を善くする人物となり、意志を継承し、さらに多くの仲間に継承してください。

日本という奇跡の国を築いてきた日本人の強い意志を継承し、実現する。

それこそが「自分と世界の間にある問題」を解決すること。

これが、基弘の『私の約束』です。

私は、基弘の『私の約束』を継承する「ヒト=事業」に投資します。



『私の約束』オリエンテーションブック発刊

発刊に当たって



小村 沙織

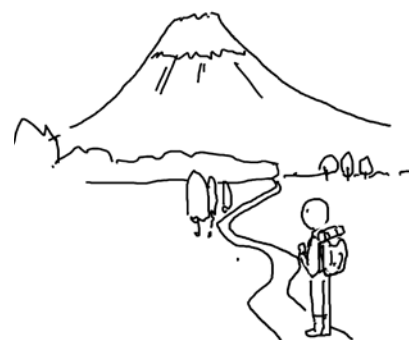
日本カバヤ・オハヨーホールディングス
人事戦略室
コミュニケーションマネジャー

このたび、『私の約束』オリエンテーションブックを発刊することになりました。『私の約束』は、「自分と世界の間の問題」を解決するための私たちの軸であり、一人ひとりが実践すべきものです。本書は、『私の約束』の原理原則を描くことによって、一人ひとりが『私の約束』を正しく理解すること。そのうえで、自分が生きる意味、働く意味を自問自答し、「自分がやる!」と覚悟し、実践し、結果を出すこと。その結果を検証し、次の行動につなげ、成長し続けることを目的としています。近日中にお手元に届きますので、グループの一員として、必ず読んでください。自分自身との向き合い、人とのコミュニケーション、評価・会議・研修などあらゆる活動のベースとして、様々なシーンで使っていただきたいと思います。

(『私の約束』オリエンテーションブック製作チーム：小村)

『私の約束』オリエンテーションブックのポイント

- ①『私の約束』とは何か
- ②『私の約束』はなぜ必要か
- ③『私の約束』を会社が掲げるのはなぜか





特集：『私の約束』オリエンテーションブック発刊

コミュニケーションから生まれた『私の約束』 書かれているのはすべて自分自身のこと

日本カバヤ・オハヨーホールディングス 執行役員 社長室 室長
坂本 直基

日本カバヤ・オハヨーホールディングスグループの従業員に、グループの軸である『私の約束』を正しく伝え、理解し、実践につなげてもらうための「オリエンテーションブック」は現在、編集作業の最終段階を迎えている。同書を有効に活用し、1人ひとりが自身の『私の約束』とどう向き合えばよいのか。発刊を前に、『私の約束』キャプテン坂本直基の『私の約束』が誕生した経緯や、その前後での意識の変化などを語ってもらった。

2004年4月に営業職としてオハヨー乳業に入社した坂本は、グループが現在の経営体制に移行した当時、東京支店のCVS営業課に所属。最大のボリュームゾーンであるコンビニエンスストア「セブン-イレブン」などを担当し、多忙な日々を過ごしていた。

「アンチ」だった営業時代

「『私の約束』に向き合うことはなかったし、そこに感情もなく、考えたこともなかった。なぜなら、基弘さんやホールディングス（HLDGS）に対しアンチだったから」――。ロイテリヨーグルトを例にとると、発売開始のことを知らされた時には、既取引先との商談の時期は過ぎており、商品の特徴も十分に把握できていない中で「すべての取引先へ導入」とトップの号令がかかった。その後も発売日や販売エリアの変更が相次ぎ、当時の坂本にとって基弘は「引っかかり回されている」という印象の存在だった。

また、このころHLDGSには、各分野で実績のある人物が入社するようになっていたが、ノウハウを伝えるというより、プロパー社員の営業スタイルを頭から否定するような雰囲気が感じられ、坂本らの「ムカつき」は日増しに大きくなっていった。

社長室への突然の異動

2017年11月、転機が突然訪れた。社長室 室長だった秋山隆（現・オハヨー乳業常務取締役）から、当時の上司も交えて食事の誘いがあった。仕事を終え待ち合わせ場所に向かうと、その場で社長室への異動を告げられた。坂本にとって、昔から世話になった先輩からの思いがけない通告。何より、思いつめたような秋山の表情から覚悟が伝わり「はい、分かりました」と二つ返事で受け入れた。

ただ、胸の内は「もろ手を挙げて…」という受け止めとは程遠く、その日から3カ月ほど葛藤が続いた。「なんで俺?」「異動してオハヨーがよくなるのか」――。上司らの間でも坂本のアンチぶりは知られており、退職を危惧する声さえあったそうだが、頭を冷やして「なぜアンチなのか」じっくり考えたところ、理由は評判やイメージによるものでしかなかった。「だったら一度、自分の目でちゃんと見てみよう」と腹をくくったのは、異動の1カ月前のことだった。

社長室での勤務が始まると、モヤモヤとした想いはあっという間に吹き飛んだ。「本気で会社をよくしたい」という想いで真剣に仕事に取り組む基弘らの姿を目の当たりにしたからだ。一方で、情報がうまくHLDGSまで届かず、現場とのかい離が生じる原因になっていることも分かり、「社長室で自分にできることがある」と意識が変わっていった。

図書レビューで『私の約束』を意識

ただ、この時点でも『私の約束』（当時は上位概念）への興味はなく、そこに目が向くのは20年9月、課題図書レポート&レビューが始まってから。実施を宣言する基弘に対し、坂本らは猛反対した。ただでさえ滞りがちな業務がさらに停滞する。何よりも、皆で同じ本を読んで何になるんだ！と懸念したものだが、「頼むからお前ら俺の言うことを1回でいいから是として受け入れてくれ」という基弘の言葉、そして悲しそうな表情に衝撃を受けた。

「自分では営業時代と同じようにプライドを持って仕事をしているつもりだったが、上司であるトップにあんなことを言わせてしまい、あんな表情をさせてしまい、実は社長室の仕事が全然できていなかった自分がダサく感じられ、すごく恥かしくなった」。そして、アリストテレスの「ニコマコス倫理学」からレビューが始まり、しばらくして『私の約束』に照らしてレポートを書くよう指示があり、ここで初めて『私の約束』と真剣に向き合うことになった。

レポートの執筆は通常業務を終えた深夜が通例。静まり返ったオフィスに1人残り、壁に掛けられた存在目的などを2時間じっと見つめ続け、あるときストンと腹落ちするような感覚があった。「『世界』と言われても遠くて実感がわかなかったが、書かれているのは結局すべて『自分』のこと。『世界』とはその先につながるもので、『世界』を変えるとは『自分』を変えること」という『私の約束』の本質がようやく理解できた瞬間だった。

「ヒーロー=オハヨーの社長」になる

こうして大きな一歩を踏み出すと、常に『私の約束』を意識するようになり、問題に直面したときの判断軸になっていった。ある日の会食後にHLDGSメンバーとそれぞれの将来の夢について語り合うことがあり、そこで「オハヨーの社長になりたい」というキーワードが浮上。続いて、基弘との雑談を通じ、漫画が好きな理由⇒好きな登場人物は自分にとってのヒーロー⇒グループにそんな存在がいるか⇒そこまでの人はいない⇒それなら自分がなればいい…と「ヒーローになる」という、最大のキーワードも明確になった。

その後、21年3月に開催されたグループ初の「絶望から覚悟に出会う会」に参加。不安に思っていることを互いに発言する時間があり、心臓疾患のある娘の将来に言及。親にできることとして「子どもにとって自慢の存在になりたい」「だからヒーローになりたい」「それが自分の中ではオハヨーの社長」。『私の約束』を意識した日々の会話、「出会う会」での議論を通じ、自然な流れで「ヒーローになる」という『私の約束』が誕生した。それ以降の坂本は判断に迷いなくなり、「自分は何者なのかが分かりすごく楽になった」そうで、昨年開催されたオハヨーの全社決起会でも人の目など気にせず壇上で話すことができたし、華麗な経歴を持つキャリア入社の人とも肩ひじ張ることなく、素直に向き合えるようになったという。

『私の約束』は、役職や部署に関係なく、すべてのグループ従業員が持つことのできるもの。また、アプローチより大切なのは「考え続けること、問い続けること、そして問い続けてくれる人を持つこと」であり、その際には「まず自分のことを話す」姿勢が欠かせない。研修などで『私の約束』について話すことが増えている坂本だが、それは「仕事だからというより、本当にいいと思っている」からこそ。自分の『私の約束』にまだ出会っていない従業員に向け「営業のころから私は自分がいいと思ったものしか人に勧めない。これは約束する」とメッセージを送る。



日本カバヤ・オハヨーホールディングスグループ 内定者座談会

志望動機、強み、達成したい夢… 社会人生活直前の「思い」を語る

参加者

石井 元稀さん（日本カバヤ・オハヨーホールディングス）

金田 悠里さん（ライフデザイン・カバヤ）

四倉 峻太さん（日本カバヤ・オハヨーホールディングス）

日本カバヤ・オハヨーホールディングスグループに今春、約70人の新しい仲間が加わる予定です。入社を約1カ月後に控え、新たに始まったグループ一括採用による内定者を含む3人に、学生時代に取り組んだことや自身の強み、今後の人生で実現したいことなど、思いのたけを語ってもらいました。

——まず自己紹介からお願いします。

金田 神戸女子大学の金田です。大学で空間デザインを勉強しました。家政学部では1年時に衣食住すべてを学び、2年からコースを選択します。私は「住宅」と「服飾系」とともに興味があり迷っていたのですが、だんだん家づくりが楽しくなり住空間コースを選択しました。卒業論文では住宅団地の空き家問題をテーマに選び、若者が魅力を感じるリノベーションについて提案しました。

四倉 高校卒業後米国に留学し、カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校を昨年5月に卒業し、10月からインターンとして研修しています。大学ではLGBTQやジェンダーの権利など社会問題を学びました。父親の仕事の関係で子どものころ香港で暮らしたこともあって英語になじみがあり、米国人と

仲良くなったことで「この人と英語で話したい」「米国の文化をもっと聞きたい」と思うようになり、親の後押しもあり留学することにしました。

石井 静岡県立農林環境専門職大学の石井です。専門職大学ではカリキュラムの50%が現場での実習に充てられます。私の専攻は畜産で、約4カ月酪農家の下で実習しましたが、早朝から働き、昼休憩が3、4時間あり、また夕方から働く…というように、牛に合わせて働かなければならない過酷さでしたが、乳価の低迷、飼料価格の高騰など経営の厳しさを含め現場を間近に見ることができたのはすごく貴重な経験です。



興味引いた酪農中心の「循環」

もともと農業や自然に興味があり農作物栽培コースで入学したのですが、総合的に学ぶ中で畜産に興味を持ちました。生乳を生産するだけではなく、たい肥は飼料の生産者に戻されるなど、酪農を中心にいろんなものが循環しているところが面白く感じました。

——日本カバヤ・オハヨーホールディングスグループを志望した動機。

金田 家づくりについてもっと知りたいと思い、3年時に一級建築士事務所でインターンを経験しました。大学では内装コーディネートについて学んでおり、実務経験が必要ないことから学生のうちにインテリアコーディネーターの資格を取得し、インテリア部のあるライフデザイン・カバヤ(LDK)を志望しました。

LDKは運動会などの社内イベントが多く、楽しそうだなと思っています。私は津山市出身で、一度県外に出たことで岡山の良さが分かったのも地元



企業を志望した一つの理由。将来的には設計などの業務も挑戦できたらと思っています。

日本と世界の懸け橋になりたい

四倉 就活を考える上で「日本と世界の懸け橋になりたい」ということが軸でした。ポストンでの就活イベントに参加したのですが、既に海外拠点を置いて事業展開している企業で働くより「(海外事業の)基盤づくりからやりたい」というのが日本カバヤ・オハヨーホールディングスに就職を決めた大きな理由です。

あと、基弘さんとの最終面接で握手を交わしたのですが「この人の下で働けば自分が成長できる」と感じるほど、熱い想いに触れたことも決め手になりました。

石井 酪農実習を経験し、メーカーの立場で酪農家とともに利益を上げられる仕事をしたいと思い就職先を探しました。倉敷出身なのでオハヨー乳業のことは昔からよく知っていて、会社説明会でフェアトレード(発展途上国と適正な価格で継続的に取引し、途上国の生産者を支援する仕組み)をすごく意識していることが分かり志望しました。

——皆さんの強み、どのようなきっかけでそうなったのか教えてください。

四倉 傾聴力と俯瞰力です。海外の大学ではグループワークが多く、毎回グループで話し合ったことを発表します。最初は何かしゃべることができませんでしたが、逆に海外の人は発言する力はあるのですが内容的に射っていないことも多く、いったん発言を聞いた上で「ちょっと違うかな?」「僕はこう思うんだけど…」とアンチテーゼを出すようにしました。

逆に、積極的に発言しない人に促すと、的を射た発言をすることもあります。そんなときは「そのアイデア、めちゃくちゃいいね」と声を掛けてプレゼンを進めるなど、みんなを引き込みつつ自分は歩引いて周りを見て、1人ひとりの意見を聞いてそれを生かす…。留学前はあまり自分の意見を言わないタイプでしたが、海外の大学でのグループワークを通じて「発言しないと自分がいないことになってしまう」という経験をしたことで、傾聴力と俯瞰力を強みにできたのかなと感じています。



高校時代の部活（ラグビー部）が厳しかったので、留学自体が「きつい」と感じたことは正直ありませんでした。言葉の壁、文化の違いを感じることはありましたが、周りの友達にも助けられ、楽しみながら過ごすことができました。

金田 私の強みはチャレンジ精神だと思っています。インターンも、何も情報がない中で自分のイメージに近い設計事務所を探して直接お願いしました。あと、小学1年から高校卒業までバスケットボールを続けたことも、心の強さにつながっているのかなと思います。

「駄目もと」でインターン挑戦

インターン先を選んだ理由は、インスタグラムで見たデザインが素敵だったのと、従業員が2人だけの事務所なので、家づくりのすべての工程が分かると思い「駄目もと」で連絡しました。打ち合わせにも同席させていただき、家が建つまでにはたくさんの方が関わっていることが分かりました。幸せそうなお客さんの姿を目にして、建築の仕事が「すごくカッコいいな」と思いました。

石井 私の強みは継続力だと思います。大学の4年間、ファストフード店でアルバイトをしていました。当初はよくしかられ、後から聞いた話ですが店長にすぐ

く嫌われていたらしく、「絶対やめる」と思われていたそうです。でも、自分の中ではやめるという選択肢はなく、しかられたら「次はどうしようか」と常に考えていました。自分が嫌われているなんて思っていなかったので「まさか」という感じです。4年間継続し、最終的にはマネージャーの資格まで取得しました。

——日本カバヤ・オハヨーホールディングスグループでは、仕事とプライベートを分けるのではなく、自分のやりたいこと、夢を実現するために仕事や会社を使うよう求めています。皆さんが達成したい夢、目標について教えてください。

四倉 「日本と海外の懸け橋になりたい」という夢があり、海外を拠点にオハヨーやカバヤの商品を広め、世界の人を幸せにしたいですね。留学中はさまざまな国の出身者と交流しましたが、アジア以外の出身者は日本のことを詳しくは知りません。「次に使う人のために」という考え方など日本ならではの素晴らしい文化を、海外を拠点に働きながら伝えたいと思うようになりました。

金田 資格をたくさん取得するのが目標です。資格があることで相手からの信頼も増すし、努力したこと目の目安にもなるはず。会社やお客様から信頼される存在になれるよう成長していきたいと思っています。

石井 畜産業者と会社の双方が利益を上げられるような仕組み、関係性をつくるのが一番です。さまざまな企業も巻き込み、6次産業化などのビジネスができればと思っています。畜産を専攻したので生乳の仕入れ業務などはもちろんですが、営業にも興味があります。アルバイトでレジ業務も経験し、自分が薦めた料理が「おいしかったよ」と言ってもらえるのは一番うれしい瞬間でした。可能であれば自分で商品売るという業務も経験したいですね。

——仕事とは一つの部署で完結させることはできないし、どの部署が何をしたいくてどんな動きをしていて、何に困っているのか…と意識するだけで人との会話の質が変わるはず。相手のことを知らないのがコミュニケーションの最大のハードルです。不安なこと、困ったことがあれば1人で悩まず周りの人にどんどん尋ねればいいし、周りの人に興味を持つことも大切。4月から仲間に加わる皆さんの活躍をお祈りし、座談会を締めくりたいと思います。本日はありがとうございました。



日本カバヤ・オハヨーホールディングス

イシイ モトキ
石井 元稀

出身 岡山県

大学 静岡県立
農林環境専門職大学
生産環境経営学部

畜産業者と企業双方に利益もたらす

強みは継続力。畜産業者と企業の双方が利益を上げることのできる仕組みをつくりたい

採用
担当者
コメント

好奇心旺盛で自分で意志を持って行動できる方です。酪農実習等を通じて、酪農の課題を感じ、変えたい想いをお持ちです。入社後も、その想いで活躍してくれることを期待しています。



ライフデザイン・カバヤ

カネダ ユリ
金田 悠里

出身 岡山県

大学 神戸女子大学
家政学部

信頼される存在を目指す

チャレンジ精神生かしインテリアコーディネーター資格を取得。会社やお客様から信頼される存在を目指す

採用
担当者
コメント

金田さんは、現状に満足せず常に挑戦できる情熱を持った人です。学生でありながらインテリアコーディネーターの資格を既に取得しており、自身の理想を実現するために考えて行動できます。持ち前の向上心とハングリー精神で活躍してくれることを期待しています！



日本カバヤ・オハヨーホールディングス

ヨックラ リョウタ
四倉 峻太

出身 茨城県

大学 カリフォルニア州立大学
ロサンゼルス校

食品通じ日本の文化を発信

食品を通じ日本の文化を発信したい。海外を拠点に活動し日本との懸け橋になる

採用
担当者
コメント

四倉さんは何事にも前向きに取り組み、自ら考え発信できる方です。海外での大学生活で培った、目標に向かって走り続ける力を発揮し、活躍してくれることを期待しています！

グループ一括採用スタート 「意志」持つ人物採用し未来の経営者育成

日本カバヤ・オハヨーホールディングスは、2024年4月入社の新卒採用から、「グループ一括採用制度」を導入した。事業会社が個別に行っていた採用を一元化し、グループが求める人物像に近い学生の採用につなげるもので、将来的には事業会社をまたいで活躍するなど、グループの未来を担う人物として育成する。

一括採用は、『私の約束』を基軸にした人事戦略の下、「入社から退職までを一気通貫でつなげる」という考え方が根底にあり、そのスタート地点に当たる制度。「営業が〇人必要」といった目先の人工としてとらえがちだった採用の在り方を見直し、グループ全体としての最適化を目指す。24年4月入社ではオハヨー乳業とカバヤ食品、25年度入社ではライフデザイン・カバヤを除く全事業会社に対象を拡大し、その後はライフデザイン・カバヤにも広げていく方針。

意志を持った人物を採用するため一括採用に踏み切ると同時に、候補者へのアプローチも変えた。日本からの留学生を対象とした海外でのリクルートイベントへの参加。文化や価値観の違う異国の地での生活で“どん底”を経験し、自分自身の力でそれを乗り越えたことによるたくましさを感じており、国内組については登録者の中から自社にマッチする人物へアプローチする「ダイレクトリクルーティング」手法を導入した。

24年春に入社する社員は「グループ総合職」という新しいカテゴリーの採用となる。配属される会社は未定だが、さまざまな会社をまたいで活躍する予定。また、すぐにでも経営に携わりたいという想いが強く、その資質が認められた人には「経営者育成コース」を設ける。同コースの希望者には別途試験を設け、合格者は経営幹部候補として、経営についての学びを深めつつグループの事業運営に携わっていくことになる。



グループ部署紹介 vol.2

「一期生に聞く！ 業界でも珍しい社員大工とは」

ライフデザイン・カバヤ 工事部 技術課

ALL for ONE Vol.37から始まった「グループ部署紹介」ですが、アンケートでは「総務戦略室の仕事って意外と知らなかった」「もっと色々な部署を紹介してほしい」など、たくさんのリクエストをいただきました。私たちのグループは、『私の約束』に基づき多様性を推進しています。さまざまな個性や価値観を持つ人が数多くの部署、事業会社で働いており、他部署の業務や、そこで働く人の想いを知ること、グループの一体感を高め、より強じんな企業体質につなげるのがこのコーナーの狙いです。今回は、ライフデザイン・カバヤ(LDK)の社員大工(工事部技術課)の一期生4人の皆さんに話を聞きました。

○メンバー	ライフデザイン・カバヤ 工事部 技術課
22名	主任 山下 勝弘
○主な業務	主任 瀬戸 健矢
・進捗管理	主任 武田 大志
・大工業務	主任 市川 貴之

☑ 一日の仕事の流れ（上棟作業日）

7:00	8:00	10:00	10:30	12:00	13:00	15:00	15:30	17:00	18:30
現場へ 到着 危険予知 活動	上棟作業開始	休憩	柱や梁などの 躯体部分作業	昼休み	棟木取り付け作業	休憩	棟木取り付け作業	掃除 片付け 外部 ブルーシート	現場退出

社員大工とは

社員大工とは文字通り「正社員の大工」。棟梁のもとに弟子入りし、修業を経て独立—というのが一般的な大工の世界。ところが、ご多分に漏れず大工人口の減少には歯止めがかからない状況で、「元請」にあたるLDKから協力先の工務店などに委託する請負形態に先はなく、安定的な事業継続のため2015年度に導入した。

一期生にあたる4人は岡山県内の高校の建築科出身。「中学生のころに自宅を建て直し、大工さんの姿に『カッコいい』とあこがれた」と市川が語るように、いずれも幼いころから大工という職業にあこがれ、「社員大工」という道を選択した。「普通の大工であればボーナスは出ないし初任給も少ない。道具も自分でそろえる」（山下）ことから、待遇面も決断を後押ししたのは間違いない。

また、「LDKの求人票を見て、『一期生』というのも魅力で、面白そうに感じた」（瀬戸）。厳しい職人の世界とは異なり、安定したサラリーマンの身分に加え、直接の先輩もいないという環境は、ともすれば「甘え」につながりかねない面もありそうだが、過去9年間で入社した社員大工23人のうち離職者は1人のみで、志を持った人物の採用につながっている。



社員大工の仕事

住宅の施工は、顧客の注文を受けたLDKから「基礎工事」「大工」「設備」「外壁」「屋根」…と専門の協力業者に分離発注され、大工仕事を社員大工が担当する。入社後は3年間、外注先の棟梁のもとでの修業を重ねて現場に出る—という流れ。当面は年間2、3人の採用を続け、「大工になるならLDKの社員大工という道がある、という環境をつくりたい」（山岡嘉彦 執行役員 工事本部長）と言う。

3年間の修業期間中は、本社への出勤は社内会議や行事が主。午前8時～午後6時まで、棟梁のもとで大工としての基礎を徹底的に叩き込まれ、4年目からはLDKで本格的に社員大工として活動するほか、修業期間を終えた若手（入社4年目）がLDKに戻って以降、ベトナム人社員大工の指導役も担当している。言葉の壁や文化の違いがあるため、意志の疎通は難しく、日本人の指導よりも悩むことも多いが「根気強く何度も伝える。自分たちの基準ではなく、相手の理解度に合わせて説明するなどの工夫が自身の成長にもつながっている」（瀬戸）と言う。

近年、LDKでは沖縄への進出、ベトナムの行政機関と連携して木造のモデルハウス建築などを手掛けているが、木造住宅の文化がない新たなエリア



に安心して進出できる背景には、社員大工の存在がある。「色々なことに挑戦できるのは社員としても大きな魅力。一般的な大工の世界では近郊の同じ様な住宅ばかりの仕事が多いが、会社に所属していれば仕事の領域は広がる。ベトナムでの経験、沖縄での施工現場の監督業務などさまざまな経験を積むことができる環境に感謝している」と武田は強調する。

9年間を振り返る

会社としても育成制度などすべてにおいて初めてのことであり、スタート時は手探り状態だった。「入社当初から本音で意見を言い合い、議論を重ねてきた4人には感謝しかない」と山岡が振り返るが、一期生たちにとっては苦労したことで社員大工という制度を会社とともに「自分たちが作り上げた」という自負が生まれている。

瀬戸は「良くも悪くも一期生。入社当初から何か新しいことをすると『一番にやらせてもらう』というのもあるし『一番にやらないといけない』というのもある。自分たちのことだけでなく後輩のため、技術課を継続するためというのは4人でよく話している」。

18歳でこの世界で飛び込んだ4人は、さまざまな経験を通して成長を続けており、市川は「技術については何年たっても完璧はない。自分まだ“大9”ではなく“大2”か“大3”レベル」とどん欲。武田は「ただ完成させるのではなく、最近はどうすれば一番かってよく収まるか、見栄えがいいか、次の業

者が仕事しやすいのかと悩むようになった」。よい家（全体）を建築するためには大工をはじめ携わる1人ひとり（個）が力を高め、うまく連動することが不可欠ということに気付き、プロとしての意識が高まっていることをうかがわせる。

今後について

知識さえあれば立場を変えずにさまざまなことに挑戦できるのが社員大工の魅力。「今後、大工だけでなく工事監督、営業など社内での異動のほかに、グループ間の異動もあるかもしれない。だからこそ、現状に満足することなく挑戦し続け、新しい大工の姿を共に創ってほしい」（山岡）。

今後の目標について、山下は「これまで新築を手掛けてきたが、次に挑戦したいのは新築より難しいリフォームや店舗内装。多能工としていろいろなことができるように勉強し、知識を増やしたい」。後輩を教えるのが苦手で「自分でやった方が早いと考えてしまうタイプ」という市川は、「育成が苦手な自分だからこそ人を育てるシステムが構築できるのではないかな。今後同じような悩みをもつ後輩たちのためにも育成に力を入れていきたい」と言う。

2級建築施工管理技士など個人的な目標とともに、会社の将来を見据え瀬戸はこう話す。「技術課は平均年齢が社内で一番若く、だからこそやるべきこと、やれることがあるはず。古い体質を改善し、新しい考えやツールを積極的に導入する“社内一のイノベーション課”を目指す」――。



山下 勝弘



瀬戸 健矢



武田 大志



市川 貴之

カバヤ食品の塩分チャージで登り切った大山登山



岡田 久美子

自由高等学院
副校長兼教務部長

自由高等学院は、週5日の登校を基本としている高等専修学校です。また、通信制高校であるクラーク記念国際高等学校と技能連携し、高校卒業資格も取得できるシステムとなっています。

本校では『凡事徹底 ～時を守り、場を清め、礼を尽くす～』をスローガンに、卒業後、社会に出てしっかりと歩んでいけるよう、礼儀正しく誠実な人物を育成することを目標としています。

また、学校生活では文化祭やスポーツ大会、修学旅行、そして大山合宿などの多彩な行事を取り入れ、これらを経験することで幅広い学びを期待しています。

大山合宿

自由高等学院では、毎年1年生が大山合宿を行っています。この合宿では、日本百名山に数えられる鳥取県の大山で、その歴史を学び、自然に触れ、仲間との交友を深めます。

今年度は、秋らしく気持ちの良い天候の中、紅葉を楽しみな

がらの登山となりました。登山を開始してしばらくは、大山の麓にある大神山神社へ続く石畳の参道をゆっくりと進み、登山ガイドの方から、神話にも登場する日本最古の神山への信仰と歴史について説明を受けました。その先はいよいよ登山道へ。ブナの森を一步一步進み山頂を目指します。徐々に足が痛くなる、体力に自信がなくなる。山頂までの道のりを思うと気持ちの苦しい場面もありました。しかしそれぞれに自分と闘いながら、同時に同じ思いで登山に挑む友人を気遣い、口々に前向きな言葉をかけあって足を進めました。6合目の休憩所を越え、ブナの森を抜けると、7合目から山頂にかけては次第に視界が開けていきます。眼下に弓ヶ浜を臨み、さらに山頂では、手が届きそうなほど雲を近くに感じて、徐々に達成感がこみ上げてきました。

今回はカバヤ食品からグループの学生たちへということで塩分チャージの差し入れをいただき、休憩ごとに塩分チャージで栄養補給をして体調管理を行いました。山頂での集合写真は塩分チャージとともに!! その後の下山も順調に進み、無事に登山の行程を完了しました。

今回の合宿で1年生は、挑戦すること、あきらめないこと、周囲への思いやりやチームワークなど多くのことを学びました。この経験を糧に次の挑戦への勇気を得られたのではないかと、今後の学校生活に期待が広がります。



ダメなモノはダメ！ e-learning動画配信のお知らせ

当グループで『いいモノはいい！ ダメなモノはダメ！』と声を上げられる内部通報制度の導入から1年3カ月経過しました。

企業が、組織内の不正や迷惑行為に関する従業員等からの通報を受け付け、調査・是正する制度として、「内部通報制度」があります。

過去を振り返り現状を見つめなおし未来につなげていくという意味を含めて、今後e-learning動画配信します。

全員が当事者意識をもち、グループ全員が一つになり、本当に風通しの良い、心理的安全性のある自由闊達な組織文化を創り上げていきましょう。

MARRIAGES & BABIES

2023年 グループ会社社員の結婚・出産報告

ご結婚おめでとうございます。

MARRIAGES



2023年5月5日

野村 征志

ライフデザイン・カバヤ 倉敷支店 営業部



2023年5月21日

渡邊 太晟

ライフデザイン・カバヤ 倉敷支店 営業部



2023年7月3日

益田 拓弥

オハヨー乳業 牛乳・乳飲料ユニット



2023年7月7日

白井 勘智

ライフデザイン・カバヤ 福山支店 営業部



2023年9月24日

西垣（山本） 梨乃

ライフデザイン・カバヤ 本部 開発本部



2023年5月10日

橋本（松本） 琴音

オハヨー乳業 営業ユニット

2023年5月21日

槇本 隆一

オハヨー乳業 ヨーグルトユニット

2023年5月24日

辻川（安原） 里奈

ライフデザイン・カバヤ 倉敷支店 総務部

2023年6月2日

和田 俊幸

カバヤ食品 品質管理部 関東品質管理課

2023年6月17日

杉岡 佳祐

カバヤ食品 品質管理部 関東品質管理課

2023年7月11日

酒井（川角） 香菜子

オハヨー乳業 営業ユニット

2023年7月20日

西川 智久

ライフデザイン・カバヤ 姫路支店 設計部

2023年8月4日

近藤（吉田） 江里

ライフデザイン・カバヤ 岡山支店 営業部

2023年8月23日

金川 広明

オハヨー乳業 デザート・フロースユニット

2023年9月13日

宮原 星平

オハヨー乳業 デザート・フロースユニット

宮原（坂根） 則子

オハヨー乳業 デザート・フロースユニット

2023年9月18日

前田 直哉

ライフデザイン・カバヤ 福山支店 不動産事業部

BABIES

こんにちは赤ちゃん♪



ミサキ
実咲ちゃん

2023年4月1日

小坂 和信

オハヨー乳業 デザート・フロースユニット



ユウリ
佑李ちゃん

2023年4月6日

松井 淳

カバヤ食品 東京支店 営業一課



タイシュウ
大修ちゃん

2023年4月19日

齋藤 隆文

オハヨー乳業 デザート・フロースユニット



アサヒ
旭陽ちゃん 2023年4月23日

岩本 夕季
カバヤ食品 岡山工場 生産二課 二係

イオリ
伊織ちゃん 2023年4月24日

大島 貴裕
カバヤ食品 研究開発室 開発管理課



ユイ
由依ちゃん 2023年4月26日

中川 由里恵
ライフデザイン・カバヤ 本部 管理本部



キハル
希春ちゃん 2023年5月12日

渡邊 康平
ライフデザイン・カバヤ 倉敷支店 営業部



シュウタ
修多ちゃん 2023年5月17日

橋本 善一
エクセルバック・カバヤ 生産部 紙工課



ダン
暖ちゃん 2023年5月19日

小泉 千得
オハヨー乳業 デザート・フローズンユニット

ミナト
湊斗ちゃん 2023年5月25日

朝井 陵太
ライフデザイン・カバヤ 福山支店 営業本部

はづきちゃん 2023年5月31日

木村 大志
カバヤ食品 東北支店 営業一課

サクト
朔士ちゃん 2023年6月4日

白崎 大河
カバヤ食品 関東工場 生産一課 二係



ナナセ
七星ちゃん 2023年6月11日

嘉藤 祐介
オハヨー乳業 デザート・フローズンユニット



ワカナ
若菜ちゃん 2023年6月16日

橋本(塚原) 理早
オハヨー乳業 営業ユニット



ナナツ
菜夏ちゃん 2023年7月18日

竹田 伸義
オハヨー乳業 SEJソリューションユニット



ツムギ
月紬ちゃん 2023年7月24日

田中 達晃
カバヤ食品 品質保証部 品質保証課



フウカ
風花ちゃん 2023年8月13日

西村 純也
カバヤ食品 生産技術部 工務課



ソウマ
想真ちゃん 2023年8月23日

川口(岩井) 光
オハヨー乳業 牛乳・乳飲料ユニット



なのかちゃん 2023年8月28日

堺 健太
ライフデザイン・カバヤ 倉敷支店 営業部



ミハヤ
美颯ちゃん 2023年9月10日

安藤 卓弥
東京レジャー開発 富嶽カントリークラブ



アン
杏ちゃん 2023年9月13日

森元 梨香
カバヤ食品 岡山工場 生産二課 二係



カコ
佳瑚ちゃん 2023年9月22日

松下 良大
ライフデザイン・カバヤ 沖縄営業所 営業部



ミナト
湊音ちゃん 2023年9月26日

荻野 剛士
ライフデザイン・カバヤ 姫路支店 営業部



チヨリ
千代莉ちゃん 2023年10月23日

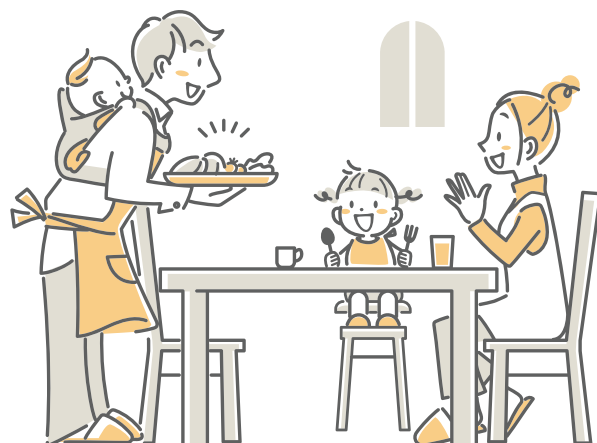
向井 豪
エクセルバック・カバヤ 生産部 生産管理課



イコイ
憩依ちゃん 2023年10月31日

小野 誠
オハヨー乳業
ヨーグルトユニット

小野(田島) 楓子
オハヨー乳業
デザート・フローズユニット





LIFE TIME

仕事も遊びも趣味も学びも恋愛も家族も、まるっと人生!

このコーナーでは、プライベートにスポットを当てて、グループで働く皆さんをご紹介します。
会社で見せる顔とは違った一面が見えるかも!?

今回のテーマ
写真撮影好き
大集合

今回は、グループ各社から写真撮影が好きな人に登場いただき「自慢の1枚」を披露してもらいました。個性光る作品をご覧ください。



ホホを朱くそめて

胸をときめかせ大好きな彼のもとへと丘を駆けくだる乙女。昔、流行った歌をイメージして撮った作品です。
(JR津山線 野々口〜牧山間での撮影)



野口 一也

エクセルバック・カバヤ
生産部 紙工課



子猫ならではの色

突然、子猫がやってきて、犬と猫のいる生活が始まりました。子猫の時だけ、目の色がキトンブルーなんだそうで、そんな時期の1枚です。縦横無尽に走り回り、私は傷だらけですがスマホの中は、大好きな猫と犬の写真でいっぱいです。



中原 めぐみ

トータルアシスト・カバヤ
営業課 主任



秋田 康裕

カバヤ食品
研究開発室 研究・開発一課

ウユニの朝焼け

大学時代に訪れた ボリビア「ウユニ塩湖」。だんだん夜が更け周りが明るくなってくる。上下を逆さにしてもどちらが天地かわからなくなるような不思議な空間で各々が好きな時間を過ごしている。また訪れたい思い出の場所。



鈴置 勝信

岡山情報ビジネス学院
教務部

藍々傘

小学生からの写真好き（機械好き）が講じて、天体写真や風景・ポートレート・モータースポーツなど何でも撮るようになりました。「好きこそものの上手なれ」でブライダルフォトの依頼をいただいたこともありました。Instagramもぜひご覧ください。
(<https://www.instagram.com/suzuok/>)



宮崎 菜名

ライフデザイン・カバヤ
ホームサービス事業部

高校生の夏 甲子園2023

私は高校野球が好きで、毎年甲子園で応援しています。去年はなんと、吹奏楽部で頑張っている娘の高校が甲子園に出場することになり、アルプスで応援する娘を応援することになりました。見事に勝利を収めた後、希望に満ちた夕日を撮影しました。今年も楽しみです。



田淵 彰彦

日本カバヤ・オハヨーホールディングス
研究企画室

ホトケノザ

1cm弱の小さな花は、ほんのわずかな風にも揺れてしまいます。超アップにすると花も葉も産毛いっぱいでした。花の様子は昆虫に蜜のありかを教える標識だとか。ちなみに、春の七草のホトケノザはこれとは別種のタビラコのこと。



鉄オタ興奮！

鉄道オタクな息子のため、度々列車の写真を撮っています。土讃線にはスイッチバックするところがあり、かつそこは秘境駅ということで、普通列車に乗車しました。写真は坪尻駅で停車しているところ。いつか寝台特急にも乗車したいねと話しています。



伴 未来

希望高等学園
倉敷校・香川校



レーザーセブン

水島コンビナート南側の国道に掛かる陸橋から夜間に撮影しました。工場夜景と車の光跡が「7」に見えることから、工場夜景マニアからレーザーセブンと呼ばれる撮影スポットです。ちなみにこの日は深夜だったため、車が通るまでかなり粘りました(笑)



古川 竜聖

瀬戸内海経済レポート
編集部



井浪 貴也

オハヨー乳業
人事チーム

ペルセウス座流星群

星空が好きになったきっかけの写真です。当時は星空撮影の知識もなく何となく天の川を撮ったところに流れ星が出現してくれました。日々の生活に追われて星空を見ることは少なくなりましたが、今でもふとした瞬間に星空を見上げる習慣がついたのはこの写真のおかげかもしれません。



菊政 健次

ライフデザイン・カバヤ
保険部

ダイヤモンド富士

富士山の山頂に太陽が沈む、年末から年明けだけに見られる現象「ダイヤモンド富士」を写しに、深夜2時にマイカーで家を出発して山中湖に着いたのは、夕方16時過ぎでした。ギリギリ間に合いました。往復30時間車を運転しましたが、お気に入りの1枚が写せて満足です。



寺田 文夫

東京レジャー開発
ザ・ロイヤル ゴルフクラブ
コース管理

雪景色の大内宿

南会津地方の宿場町が好きで、何年かに一度訪ねては写真撮影をしています。今回は冬の雪景色の撮影に出かけた時の1枚です。朝の早い時間帯のため、名物料理のネギそばを食べることができませんでした。また春の桜時期に行こうと思います。

Vol.40 web版表紙募集告知

ALL for ONE Vol.40よりweb版の表紙をグループ従業員の皆さんから募集します。
次月号(Vol.39)で表紙募集に関する詳細の掲載を予定していますのでぜひご応募ください！

みっちゃんのおうちごはん

いただきます!



食品メーカーをグループに中核に持つ企業として、従業員の皆さんに身近なところから「食」に興味を持ってほしいという想いで「みっちゃんのおうちごはん」をお届けします。当グループのシェフであり、フードコミュニケーターでもある光野英世が、心と身体にやさしく、作る人も食べる人もみんなが笑顔になれるような料理レシピをご紹介します。



今回のお料理

みっちゃん特製牛丼

今年度は、調理時間や片付け、洗い物の時間を短縮し趣味やご家族・ご友人との時間創出！「フライパンまたは鍋1つでできる料理」をテーマに連載しています。第4弾で、今年度最後のお料理は「みっちゃん特製牛丼」です。今回は初の和食で、だれもが1度は食べたことのある牛丼の簡単レシピを紹介します！自宅で作ると好きな野菜をたっぷり入れられるので、美味しいだけでなく身体にもやさしいレシピです。

材料 (2人分)

ごま油……………	大さじ3	シイタケ……………	2本
牛肉(豚こま、豚バラでも可)……………	160g	玉ネギ……………	1/2個
鷹の爪……………	少々	白菜(キャベツでも可)……………	4枚
ショウガ(チューブでも可)……………	1/3個	めんつゆ(2倍濃縮)……………	100ml
ニンニク(チューブでも可)……………	1片	水……………	150ml
長ネギ……………	お好みの量		

作り方

- ① ニンニク、ショウガをみじん切り。ネギを斜め切り。シイタケ、鷹の爪を輪切り。玉ネギを半月切り。白菜を一口大に切る。



- ② フライパンまたは、鍋にごま油を入れ火をつける。



- ③ フライパンが温まったら、ニンニク、ショウガ、長ネギ、鷹の爪の順で入れサッといため、そこに牛肉を入れる。



- ④ 牛肉に赤みが少し残るくらいまでいためたら、玉ネギとシイタケを入れて玉ネギが透き通るくらいまでいためる。



- ⑤ 白菜とそばつゆ、水を入れ中火で5分煮る。



- ⑥ 5分たったら具材に均等に味が染みるように混ぜて、さらに2分弱火で煮込む。



- ⑦ 具材全体に味が染みたら完成。

みっちり豆知識

ある生物人類学者が「料理こそが人類を進化させ、現在の人類をつくった」と主張しています。火を通すことで、生食よりはるかに多くのエネルギーが得られ、歯や顎、胃腸が小さくなり、脳が大きくなったとされるほど、料理は人間生活と密接に関わっています。

アレンジレシピ

そばつゆをトマト缶やケチャップに替えることでトマト煮込みにもなりますし、牛肉を鶏肉や豚肉に替えることも可能です。お好みで色々なアレンジができるのでぜひ自分流のレシピを考えてみてください！

(編集部：山澤)



ホールディングス人事戦略室からのお知らせ



「いいモノはいい!」 サイト更新中!

URL: <https://goodaward.info/>

風通しの良い、心理的安全性のある自由闊達な組織文化を目指して、
2022年4月より運用を開始したグループ表彰制度。
グループ間の好事例を共有し、個社を越えて、認め、感謝し、気兼ねなく学び合う場として、
「いいモノはいい!」サイトを創りました。定期的に更新していきますので、ぜひご覧ください!
※パソコン・スマホ(社用・私用どちらでも)で閲覧可能です。



いいモノはいい! サイトの
利用には、ユーザー名・
パスワードは不要です。

※閲覧に伴う通信費(パケット代)は利用者のご負担となります。通信費はご利用の通信会社、ご契約プランにより内容が異なりますので、詳細につきましては契約会社へお問い合わせください。

ALL for ONE web

バックナンバー、役員の対談、インタビュー動画、web版のみのコンテンツもあります!

利用するには事業会社別にユーザー名とパスワードが必要になります

ユーザー名・パスワードに関してはホールディングス ブランディング戦略室 山澤 (n_yamazawa@kabaya-ohayo.jp) まで

ログインページ



all-for-one-web.com

※閲覧に伴う通信費(パケット代)は利用者のご負担となります。通信費はご利用の通信会社、ご契約プランにより内容が異なりますので、詳細につきましては契約会社へお問い合わせください。



ALL for ONE 読者プレゼント!

アンケートにご回答いただきましたグループ従業員の皆さんの中から抽選で25名の方に「ロイテリ乳酸菌サプリメント Self Guard30粒入」(3,240円税込)をプレゼント!

1日1粒目安に水無しで舐めるだけの手軽さが好評です。
生きたロイテリ菌にキシリトール配合、やさしいイチゴ味。
お口から全身に届けるロイテリ習慣、はじめてみませんか?

ロイテリ乳酸菌サプリメント Self Guard30粒入

アンケート締切: 2023年3月29日(金)



アンケートサイトへ

◆グループ従業員向け特別販売コーナー

<https://ohayo-reuteri.com/sc/emp.html>

パスワード:T49Y5

グループ従業員の方限定で特別価格でご提供していますので、日頃の健康管理にご活用ください!



日本カバヤ・オハヨーホールディングス 人事戦略室より

会社に対して質問・意見・提案をしても何もフィードバックがない、
納得できないことがある、現場にはこんな問題がある・・・等々、
会社に対する皆さんからの声をお寄せ下さい。

会社を善くしたい、働く環境を改善したい・・・等々。
「より善くしたい」という想いが前提になっているご意見であれば、
あなたの発言を尊重して守り、個の利益・利害を阻害することなく、
全て受け付け、対応します。

「ONE for ALL」

個の発する意志は自由。
一人の悩みは多くの仲間の悩み。
一人の意見、提案は多くの仲間を助けるもの。

「ALL for ONE」

事業は人なり。
社員という言葉で大きく括らず、一人ひとりの意志に向き合います。

連絡先: 日本カバヤ・オハヨーホールディングス 人事戦略室 担当: 佐々木

Mail: info@kabaya-ohayo.jp

ALL for ONE編集後座談会

大森 坂本キャプテンのインタビューは、まさに『私の約束』誕生物語でしたが、皆さんどのよう感じましたか。

野崎 「世界」というワードは遠いことのように感じがちですが、実は自分と“地続き”のものであることが実感できました。

田中 当初はホールディングスへのムカつき、そして基弘さんのことを知ろうとしなかった坂本さんの意識が徐々に変わり、興味を持ち、自分自身への問い掛けを通して気づきにつながった経緯は、行動規範の「人を知る」そのもの。

小村 「自分が何者か分かり、どんな人と対峙することも怖くなくなった」という言葉がありましたが、それは1人では何もできないことを自覚し、「でもやりたいことがある。だから手伝って」と素直に言えるようになったからであり、それが「自己肯定する」ということ。自分の『私の約束』を見つけるには、まず自分を知ることが大切。自分が何も知らないと分かればそれを知ろうとし、人に聞いたり、本を読むという行動につながる。そして世界を知り、自分と世界の間の問題が観えてくる...というトップメッセージの内容につながるのではないだろうか。

大森 坂本さんは存在目的の本質が腹落ちしたことで日常会話の中でキーワードが明確になり、『私の約束』へとつながりましたが、自分の理想からさかのぼり共通項を見つけていくなど、アプローチはいろいろあるはず。皆さ

んが『私の約束』を見つけ、磨いていくヒントをALL for ONEから発信できるよう努めましょう。

山澤 部署紹介ではライフデザイン・カバヤ(LDK)の「社員大工」を取り上げました。資格取得や多様な業務への関心という「学ぶ」姿勢、後輩やベトナム人大工を「思いやり」「育てる」こと、若い組織だからこそ古い体質を改善し、会社に「影響力」を与えようという意気込みなど、行動規範を体現するようなコメントが数多く聞きました。特に、「人を育てるのが苦手な自分だからこそ、同じ悩みを持つ後輩のために育成システムを構築したい」という発言は、苦手なことを後回しにしがちな自分自身にとって大いに学びになりました。

丹原 4人の話から、プロ意識の高さ、独自の哲学が感じられ、自分にとっても多くの気づきがありました。LDKがベトナムや沖縄に進出できるのも、嫌な顔一つせず出張してくれる彼らの存在があってこそ。「学ぶ」「育てる」など、行動規範の循環を生み出す彼らの一層の成長を確信しています。

野崎 個人の成長が会社の成長につながるという、LDKの好循環を象徴していますね。

小村 内定者座談会の参加者は、それぞれ学生時代の経験を通じて「世界の問題解決」「大きな仕事」への意識が感じられました。入社後の活躍を期待しましょう。



投稿・ご意見募集中！

「現場でこんな問題がある」「自分のアイデアを聞いてほしい」などの意見やALL for ONEの感想や疑問点をアンケートに記入して送ってください。ご意見、ご感想をお待ちしています。



アンケートサイトへ

日本カバヤ・オハヨーホールディングスグループ
Communication Magazine "ALL for ONE" Vol.38

発行: 2024年2月25日
制作: 日本カバヤ・オハヨーホールディングス プランディング戦略室
東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル10階
TEL: 03-3222-7311

NIPPON
KABAYA OHAYO
HOLDINGS
INC.

ONE for ALL

真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにする